

令和6年度事業報告

○ はじめに

令和6年中は、新型コロナウイルスに伴う各種制限が解除され、社会活動等が活発化となり、様々な指標がほぼコロナ禍前までの水準に戻る1年となりました。

犯罪情勢について、全国的には闇バイトで募った若者が実行犯となる、匿名流動型の犯罪グループによる凶悪な強盗事件が多数発生し、国民の体感治安が大きく悪化する年でした。

県内の犯罪情勢について、コロナ禍まで概ね減少していた刑法犯の認知件数が、令和4年から3年連続して増加となり、さらには、子供や女性を対象とした犯罪の発生や、高齢者を狙った特殊詐欺被害の増加のみならず、各世代が被害者となっている、SNS型投資・ロマンス詐欺が大きく増加したほか、少年の薬物乱用防止対策は、大きな課題となっています。

当協会及び各地区防犯協議会においては、県警察、関係機関、職域、団体及び防犯ボランティア団体等との連携を一層密にして、あいさつ・声かけ・鍵かけ運動「チャレンジ“絆”」をはじめとする地域主体の、地域ぐるみによる自主防犯活動に取り組むなど、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会づくりに向けた各種事業を推し進めてきました。

令和6年度の主要事業は、次のとおりでありました。

第1 防犯広報啓発普及事業

1 ホームページ等の積極活用

当協会のホームページに、警察本部配信に係る犯罪情報「やまとの安全」や自主防犯ボランティア団体ニュース（活動事例紹介）、防犯グッズ推奨紹介等を掲載して、防犯広報啓発普及に努めた。

2 機関紙「防犯なら」の発行

機関紙「防犯なら」を季刊発行（4月・7月・10月・1月～各10,400部）し、広く県民に当協会が実施したイベントや各地区防犯協議会の活動紹介、県警察提供に係る犯罪情勢やその被害防止対策、各種防犯機器の紹介、及び防犯モデルマンション登録状況等をタイムリーに知らせる広報啓発普及活動に取り組んだ。

3 防犯講習用教材資料の配分

多発する犯罪の手口やその防止対策等を取りまとめた「防犯ハンドブック小冊子」15,000部のほか「住宅侵入強・窃盗被害防止冊子」1,800部、「新時代のサイバー犯罪被害攻略ブック」3,000部、「薬物乱用防止ハンドブック」500部等を各地区防犯協議会等に配分した。

4 全国地域安全運動の推進

(1) ポスター、青パト写真の募集

令和6年度全国地域安全運動の気運の高揚を図るため、ポスター等の募集を行ったところ、ポスター67点、青パト写真2点の応募があり、全国防犯協会連合会に送付するとともに、応募者全員に参加賞（タンブラー）を贈呈し、地域安全活動への協力を呼びかけた。

(2) マスメディアによる啓発

新聞各紙に犯罪被害防止に向けた啓発文を延べ3回掲載し、自主防犯活動の普及に努めた。

(3) 広報資料等の配分

地域安全運動を盛り上げるため、防犯ボランティア活動等を紹介するポスター300枚、各種犯罪被害防止を内容とするリーフレット8,000枚、ウェットティッシュ「地域の絆で犯罪を寄せ付けない安心なまちに」6,000個及び啓発用二色ボールペン1,000本を各地区防犯協議会に配分し、全国地域安全運動の気運の高揚を図った。

(4) 全国地域安全運動「奈良県民大会」の開催

10月4日（金）、「弥生の里ホール」において、主催者として副知事、警察本部長、県教育長、県防犯協会会長が、来賓として県議会議長、県公安委員長等出席の下、約450名の県民が参加して、「令和6年度全国地域安全運動奈良県民大会」を開催した。

第一部は、防犯功労団体（者）表彰、第二部では、NPO法人体験型安全教育支援機構代表理事 清永奈穂氏による基調講演「危機の時代にあなたには何ができるか」が行われ、その後、警察音楽隊による演奏等で大会を盛り上げた。

5 犯罪の発生実態を踏まえた防犯広報

(1) 「空き巣」等被害の防止対策「チャレンジ“絆”」の積極推進

県下で断続的に発生する「空き巣等住宅対象侵入窃盗」の被害を未然に防止するとともに、地域の防犯力を高めることを目的として、「チャレンジ“絆”鍵かけ・電話機対策実施中 ～空き巣・特殊詐欺被害ゼロ～」の啓発シート10,000枚、同内容の啓発のぼり旗1,500本を作製し、各地区防犯協議会に配分して、空き巣のみならず特殊詐欺被害防止等の犯罪が起きにくい地域社会づくりに向けた新たな運動を、地域ぐるみで推進しようと呼びかけを行った。

なお、同運動には令和6年12月末現在、県下の829地区198,025世帯が参加している。

(2) 「特殊詐欺等」被害の防止対策

変化する世情に乗じた特殊詐欺の発生を防止すべく、各地区防犯協議会等へ貸し出している、防犯講習用防犯電話機を活用した広報活動等により、防犯電話機の設置拡充を図った。

全国防犯協会連合会の助成事業（助成金）を活用し、特殊詐欺をはじめ各種犯罪情報を配信するほか、特殊詐欺対策機能を有する県警察アプリ「ナポリス」の広報用ボールペン1,000個を作製し、各地区防犯協議会等に配分して効果的

な広報啓発活動を推進した。

また、各世代が被害に遭う投資・ロマンス詐欺対策として、ガチャマシン及び啓発品を購入等し、各種イベントで活用することにより、老若男女に興味を持ってもらいながら被害防止に資する広報啓発を推進した。

さらに、定期バスの車内広告として、県警察フォトコンテスト優秀作品を使用した「啓発ポスター」400枚を作製、掲示して被害防止を呼びかけた。

前記(1)に関連し、「チャレンジ絆」の活動参加地区で特殊詐欺被害防止対策を強化した。

(3) 「その他多発犯罪」被害の防止対策

身近で発生する犯罪情報を、広く県民に周知する手立てとしてシステム化された県警察の「ナポリス」の利用促進を図るため、アプリの登録を呼び掛け広報啓発活動を支援したほか、子供・助成・高齢者の安全を図るための啓発物品（啓発用バック、啓発用ミニタオル、被害防止ボールペン等）を作製し、各地区防犯協議会等へ配分するなどして、被害防止に努めた。

特に投資詐欺・ロマンス詐欺防止対策及びサイバーセキュリティ意識の向上を推進するため、県警察等と連携し、2月26日田原本青垣生涯学習センターにおいて、「サイバーセキュリティ・カレッジ in NARA」を開催し、オリジナルクリアファイルやタオル等の啓発物品を配布したほか、パネル展示やサポート詐欺の被害体験の実演を行った。

6 年末年始の防犯広報

年末年始の慌ただしい時期に多発傾向にある金融機関対象強盗事件や、少年非行及び悪質商法等の被害防止を目的に、各新聞に広告文を延べ2回掲載して広報啓発に努めるとともに、防犯カレンダー「～みんなでつくろう安心の街～2025」550部を作製して各地区防犯協議会等に配分した。

7 高齢者被害防止広報

前記「特殊詐欺等の被害防止対策」を鋭意推進したほか、防犯講習会等を通じて防犯ハンドブック等による具体的な注意点を教示するなど、高齢者に的を絞った広報啓発に努めた。

8 防犯グッズの推奨

防犯器材販売会社等の申請に基づき、

- ① 不審者捕獲用網飛び出し器「ネットランチャー」
- ② 特殊詐欺対策電話アダプター「Photoplus (フォトプラス)」
- ③ 特殊詐欺被害ゼロを目指す「ファクシミリ/コードレス電話機」
- ④ 携帯電話の電波を検知して、ATMの取引をストップする「センサー」
- ⑤ トラック等の「バッテリー盗難防止用ナットカバー」

の5品目を当協会推奨品として、ホームページに掲載した。

第2 少年の非行防止・健全育成事業

1 青少年の非行・被害防止運動（7～8月）の実施

(1) 広報資料等の配分

夏休み期間中、子供、女性、及び高齢者を対象に開催した「夏の防犯スクール」イベント会場において、犯罪被害防止ボールペン200個、ミニタオル、持ち手付きバッグ各150個等の啓発品を配布して、子供、女性及び高齢者の犯罪被害防止を呼びかけた。

(2) マスメディアによる啓発

新聞各紙へ、「青少年の非行・被害防止運動の実施について」の啓発文を延べ3回掲載し、県民各層への意識の高揚を図った。

(3) 少年健全育成奈良県カンファレンスの開催

7月28日（日）、「いかるがホール」において、県警察、県少年補導員協会連合会等共催による「少年健全育成奈良県カンファレンス」を開催した。

カンファレンスには、各署の少年補導員や関係機関から約300名が参加し、第一部では、県警担当者による少年補導に関する講習、第2部では、スクールカウンセラーの安永智美氏が基調講演（演題：「出会いで未来が変わる・変えられる」）を行い、少年の健全育成に向けた意識の高揚を図った。

2 子供を犯罪の被害者にも加害者にもさせない活動の推進

(1) 親子で学ぼう「命の安全教室」の開催

子どもを誘拐や連れ去り等の被害から守るための指導キーワードである“いかのおすし一人前”の周知徹底を図るため、親子で学ぼう「命の安全教室」を11月30日（土）「うだアニマルパーク」において開催し、親子で連れ去り被害防止や性被害防止を学んだ。

また、参加者に記念品（オリジナルカレンダー）を贈呈した。

(2) “いかのおすし一人前”の啓発

子供を狙った卑劣きわまりない犯罪の絶無を図るため、警察本部少年課及び少年補導員協会と連携して、“いかのおすし一人前”を啓発する下敷き（リニューアル版）を作製し、県下の全新入学児童（約10,000名）に対し、市町村教育委員会等を通じて贈呈した。

なお、令和7年2月27日、広陵町役場応接室において、関係機関・団体の関係者出席のもと、贈呈式を実施し、マスコミ広報等による周知等を図った。

(3) 薬物乱用防止の広報啓発

依然として、大麻をはじめ薬物事犯で検挙される少年が後を絶たない状況から、「薬物乱用防止ハンドブック」500部を調達し、薬物乱用教室で活用する等により、県内の中学生及び高校生の順法意識の向上を図った。

また、警察本部少年課と連携して違法薬物の色や形状について、リアルに訴えることができる「薬物標本」及びのぼり旗（2枚組）を作製し、県下各地で実施する薬物乱用防止啓発活動を支援した。

(4) 「ながら見守り標」の贈呈等

登下校時の子供たちを見守ってもらう活動の「ながら見守り」を推進しており、1月20日、県立五條高校において、同校生徒会の代表に対し、当協会オリジナルの「ながら見守り標」300個を贈呈し、高校生による部活途中や登下校しながらの見守り活動を依頼した。

3 ボランティア団体総合補償保険の助成

少年補導等ボランティア活動中における万一の事故に備えるため、少年補導員等467名を対象とした総合補償保険の掛け金を全額助成した。

4 広報啓発用ポスターの配分

映画タイアップ防犯ポスター「クレヨンしんちゃん」500枚を各地区防犯協議会に配分し、全世代での犯罪被害防止を広く呼びかけた。

5 「被害防止教室」用ぬいぐるみの貸与

児童、生徒を対象とした「被害防止教室」で使用する人体着用ぬいぐるみ5体（うさぎ・とら・ねずみ・男の子・女の子）を少年サポートセンターへ貸与し、同センターの活動を支援した。

第3 防犯ボランティア支援事業

1 大学生等防犯ボランティアの育成支援

奈良県大学生等防犯ボランティア団体「あっぷりけ戦隊！奈良まもりたい（80名）」、少年警察大学生ボランティア団体「少年フォロース奈POLI（ナポリ）（40名）」、「奈良県警察サイバー防犯サポーター（20名）」のイベントや広報啓発活動等を支援し、次代のボランティアリーダーの育成を図った。

2 ミニ防犯講演会の開催

県下各地の自治会・団体等からの要請に基づき、当協会職員による地域・職域単位の「ミニ防犯講演会（防犯講座）」を延べ10回開催（参加者延べ180名）し、地域住民等の防犯意識の高揚を図るとともに、防犯ボランティアの育成支援を図った。

3 ボランティア団体総合補償保険の助成

ボランティア活動中における万一の事故に備えるため、地域安全推進委員1,766名を対象とした総合補償保険の掛け金を一部助成した。

4 2025年版防犯手帳の配分

地域安全推進委員等に「2025年版防犯手帳」2,400冊を配分し、代金の一部を助成した。

第4 防犯功労者・功労団体表彰事業

1 全国防犯協会連合会表彰

- (1) 防犯功労団体(警察庁長官・全防連会長連名表彰)
 - ・ 天理防犯協議会 地域安全推進委員田原本駅前支部
- (2) 防犯功労ボランティア団体(全防連会長表彰)
 - ・ 桜井・宇陀・東吉野地区防犯協議会 地域安全推進委員榛原支部
- (3) 防犯栄誉金章(警察庁長官・全防連会長連名表彰)
 - ・ 倉本佳洋 氏(御所市)
- (4) 防犯栄誉銀章(警察庁長官・全防連会長連名表彰)
 - ・ 井上良作 氏(生駒市) 他 1名
- (5) 防犯栄誉銅章(全防連会長表彰)
 - ・ 西村一朗 氏(上牧町) 他 5名

2 近畿防犯協会連絡協議会表彰(近畿管区警察局長・近防連会長連名表彰)

- (1) 防犯功労団体
 - ・ 橿原防犯協議会 地域安全推進委員葛本支部
- (2) 防犯功労者
 - ・ 垣内照夫 氏(下市町) 他 5名

3 奈良県防犯協会表彰

- (1) 防犯功労団体(警察本部長・会長連名感謝状)
 - ・ 北今市児童見守り会 他 4団体
- (2) 防犯功労者(警察本部長・会長連名感謝状)
 - ・ 森 正則 氏(大和高田市) 他 19名
- (3) 協会功労団体(会長感謝状)
 - ・ 一般社団法人奈良県タクシー協会 他 1団体
- (4) 功労警察職員(会長感謝状)
 - ・ 米田亜希子 氏(奈良警察署) 他 4名

第5 防犯モデルマンション登録事業

1 登録証の交付

- 登録証第31号
 - ・ 交付日：令和6年6月
 - ・ 申請者：近鉄不動産株式会社
 - ・ マンション名：奈良県橿原市久米町862番地
「ローレルコート橿原神宮ザ・レジデンス」
- 登録証第32号
 - ・ 交付日：令和6年6月
 - ・ 申請者：奈良市個人
 - ・ マンション名：奈良県大和郡山市茶町43番地

「パレスオカムラ」

○ 登録証第33号

- ・ 交付日：令和7年2月
- ・ 申請者：近鉄不動産株式会社
- ・ マンション名：奈良県生駒市元町1丁目291番18
「ローレルコート生駒ザ・レジデンス」

第6 その他の事業

1 風俗営業管理者講習事業

奈良県警察本部長から事業委託を受け、風俗営業管理者講習を8回実施。受講管理者128名に対し、法令知識、犯罪抑止、及び少年の非行防止等について指導した。また、風俗営業の適正化を図るため、遵守事項等を内容とする小冊子「風営適正化法管理者ハンドブック」及び「風俗営業許可店」表示板を配布し、適正営業を要請した。

2 風俗営業所調査事業

奈良県警察本部長から事業委託を受け、風俗営業所の許可、及び構造設備の変更承認に伴う調査を27件実施し、警察本部主管課へ遅滞なく復命した。

3 自転車防犯登録事業

盗難自転車の早期被害回復、及び犯罪捜査活動などの警察の治安維持活動を支援するため、奈良県自転車防犯登録会から事業委託を受け、自転車防犯登録カードデータ43,205件をコンピュータ入力し、警察本部に提供した。

4 古物商許可標識等の発行取次事業

「古物商許可標識」の発行申込が49件、「行商従業者証」の発行申込が31件「古物台帳」の発行申込が26件あり、それぞれ取扱事業所に発行を取り次いだ。

第7 法人管理等

1 役員変更登記手続き等

「公益財団法人奈良県防犯協会」へ移行して14年目を迎えた昨年度中、役員等が異動等に伴い辞任したことを受け、計4回にわたり定款が定める補充選任手続き及び会長等役員の改選手続きを経て変更登記を行ったほか、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律並びに同施行令に定める手続きを遅滞なく行うなど、適正な法人管理に努めた。

2 事業財源の確保

役員各位の協力を得るなどして事業財源の確保に努めた結果、新規賛助会員14名（若しくは団体）から合計19万円の会費収入を新たに得た。

また、奈良県遊技業協同組合から50万円にのぼる高額寄付を受け、犯罪・非行防止支援自動販売機（寄付型自動販売機）16台を通して、令和6年中には総額399,811円の寄付を受けた。

3 理事会・評議員会の開催

- (1) 第1回定時理事会（5月21日 奈良ロイヤルホテル）
- (2) 定時評議員会（6月11日 奈良ロイヤルホテル）
- (3) 第2回定時理事会（2月26日 奈良ロイヤルホテル）

4 関係機関団体の会議等出席

(1) 全国防犯協会連合会関係

- ・ 都道府県防犯協会専務理事・事務局長会議及び風俗環境浄化事業運営管理者研修（7/17 東京）
- ・ 全国防犯功労者・団体表彰伝達式（9/26 東京）

(2) 近畿防犯協会連絡協議会関係

- ・ 近防連定例会議（5/10 大阪）

(3) その他、防犯団体等関係

- ・ 奈良県コンビニエンスストア防犯対策協議会通常総会
（5/31 奈良県経済倶楽部）
- ・ 社会を明るくする運動奈良県推進委員会（5/16 奈良ロイヤルホテル）
- ・ 奈良県暴力団追放県民センター第1回理事会（5/16 農協会館）
- ・ 奈良県防犯設備士協会総会（5/17 アクティ奈良）
- ・ 奈良県暴力団追放県民センター定時評議員会（6/6 農協会館）
- ・ 奈良県少年補導員協会連合会定例総会（7/11 警察本部）
- ・ 奈良県遊技業協同組合通常総会（6/20 ホテル日航奈良）
- ・ なら被害者支援ネットワーク総会（6/19 警察本部）
- ・ 奈良県金融機関防犯協議会総会（7/23 警察本部）
- ・ 国民スポーツ大会等奈良県準備委員会第2回総会
（8/7 県コンベンションセンター）
- ・ 奈良県暴力団追放県民センター第2回理事会、臨時評議員会
（2/17 農協会館）

5 関係団体のキャンペーン参加協力

- ・ サイバーセキュリティカレッジin奈良（2/26 田原本青垣生涯学習センター）
- ・ 夏の防犯スクール（8/20 イオンモール大和郡山）
- ・ 安全・安心の城下まちづくり市民大会（10/10 やまと郡山城ホール）
- ・ 暴力団・銃器追放奈良県民退会（11/20 斑鳩ホール）
- ・ 奈良地区警友会青色パトロール隊特別警戒出発式（11/18 奈良警察署）
- ・ 犯罪被害者支援奈良県民のつどい（11/29 奈良公園レクチャーホール）
- ・ 六条校区防犯見守り隊合同始動式（1/6 奈良市立六条小学校グラウンド）